

## 平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業の進捗状況について

### 1 要旨・目的

平成30年7月豪雨に係る農地・農業用施設の災害復旧事業については、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン進捗状況（令和5年6月公表）」のとおり、概ね令和5年度で完了する見込みであるが、他工事との調整の影響や隣接地権者との協議の難航等により、庄原市が実施主体の工事のうち11箇所において、令和6年での完了見込となったため、その内容について報告する。なお、他市町が実施主体の工事は、全て令和5年度内に完了する。

### 2 農地・農業用施設災害復旧事業の進捗について

令和5年10月末までに農地・農業用施設4,237箇所全ての実施箇所について契約を終え、4,091箇所（96.6%）の工事が完了している。

施設名	実施箇所※	契約済			工事完了		
		3月末まで ①	4～10月 ②	10月末まで ①+②	3月末まで ①	4～10月 ②	10月末まで ①+②
農地・農業用施設	4,237 (4,924)	4,237 (100%)	0	4,237 (100%)	4,023 (94.9%)	68	4,091 (96.6%)

※ 実施箇所数は、自力復旧などの理由により申請を取り下げた（廃工）箇所を除く。（令和5年10月末現在）  
 〈 〉は工事費40万円以上で、国庫補助事業として採択された箇所数、（ ）は進捗率。

### 3 今後の見通しについて

現在施工中の146箇所のうち、庄原市の11箇所が令和5年度内の完了が困難となっている。

工種	農地	道路	水路	揚水機	頭首工	ため池	合計
施工中（10月末）	53	13	42	1	23	14	146
完了が困難な箇所	2	0	6	0	0	3	11

### 4 災害復旧工事が完了が困難な箇所への取組

完了が困難な11箇所については、県と庄原市が連携し、他工事との調整や下請事業者への協力を依頼しており、順次、工事に着手する見通しとなった。

引き続き、庄原市との連携を密にし、災害復旧工事の進捗管理を徹底することにより、令和6年中の早期の工事完了を目指す。

なお、被災受益の農地については、仮設パイプや仮畦畔などにより全ての箇所で営農が再開されており、今後についても、大きな支障がないことは確認している。

表 1 進捗に遅れが生じている箇所に対する対応

区分	完了が困難な理由	今後の対応及び見通し
① 下請業者の不足などによる影響 (6箇所)	ア 早期復旧に向け建設事業者と請負契約を締結したが、公共災工事を優先したことにより、下請事業者が確保できず、年度内の工事完了が困難となった。 (農地 1箇所、水路 4箇所)	令和6年4月から工事の着手が可能な下請事業者を確保している。順次、工事に着手し、令和6年7月までに完了する予定である。
	イ ため池復旧工事に8月に着手したものの、公共災工事を優先し、ため池復旧工事を一時中断したため、年度内の完了が困難となった。 (ため池 1箇所)	現在施工中の公共災工事は、令和6年3月に完了するため、公共災工事完了後の令和6年4月に、ため池復旧工事に着手し、令和6年11月に完了する予定である。
② 農業用水利用による一時中断 (2箇所)	令和5年6月、受益者に向けたため池復旧工事の工程説明会を実施したところ、今年度は作付けする旨の要望が出され、一時工事現場を離れ、他の災害復旧工事を行うこととした。このため、着手が10月以降となり、年度内の完了が困難となった。 (ため池 2箇所)	現在、建設事業者が施工している他の災害復旧工事は、令和6年3月に完了するため、完了後の令和6年4月に、ため池復旧工事に着手し、令和6年12月に完了する予定である。
③ 隣接する地権者との協議 (2箇所)	水路の復旧工事に必要な仮設道を隣接する水路受益者以外の山林に設置するための協議が難航し、年度内の工事完了が困難となった。 (水路 2箇所)	地権者との粘り強い調整を重ねた結果、令和6年1月以降に仮設道に工事着手することで合意を得ることが出来た。このため、令和6年9月に完了する予定である。
④ 隣接する他の災害復旧工事の遅れ (1箇所)	農地復旧工事に隣接する河川復旧工事の進捗に遅れが生じたため、河川復旧工事の仮設道部分の年度内の完了が困難となった。 (農地 1箇所)	隣接する河川復旧工事は、令和6年3月に完了するため、農地復旧工事は、令和6年4月に完了する予定である。